

## プログラム

10:20~10:30 開会の挨拶 所長 岩崎 泰彦

### 一般講演

10:30~11:00 国総研の最近の話題  
研究総務官 藤田 光一

### 特別セッション (防災)

11:00~11:30 すぐに役立つ土砂災害対策  
土砂災害研究部長 渡 正昭

11:30~11:50 国民・社会の要請に応えるための  
建築分野の取り組み  
建築研究部長 五條 渉

11:50~12:10 防災都市づくりのための  
研究開発の最新動向と今後の展開  
都市研究部長 金子 弘

12:10~12:30 2050年に向けた建築分野における  
温室効果ガス排出低減の鍵  
住宅研究部長 澤地 孝男

13:30~13:50 IPCC第5次報告書を受けた  
高潮浸水被害予測とその含意  
沿岸海洋・防災研究部長 鈴木 武

13:50~14:10 東アジア地域を中心とした  
輸送円滑化策に関する研究  
港湾研究部長 小泉 哲也

14:10~14:30 空港民営化における  
地震リスクマネジメント手法の開発と  
インフラ管理効率化への取り組み  
空港研究部長 菅沼 史典

14:45~15:05 激甚化する水災害へのITC戦略  
河川研究部長 鳥居 謙一

15:05~15:25 下水道における  
資源・エネルギー回収等の最新動向  
下水道研究部長 高島英二郎

15:25~15:45 すぐに役立つ道路交通データ、  
交通安全対策、LCA技術  
道路交通研究部長 森 望

15:45~16:05 分野横断的研究の推進  
～災害対応の迅速化・事業執行の効率化～  
防災・マネジメント基盤研究センター長 高野 匡裕

### 特別セッション (維持管理)

### 特別講演

16:20~17:20 『社会資本ストックの維持管理に  
どう立ち向かうか』  
東京都市大学副学長  
・総合研究所教授 三木 千壽

17:20~17:50 すぐに役立つ道路構造物の維持管理  
道路構造物研究部長 真下 英人

17:50~18:00 閉会の挨拶 副所長 山本 浩

## お申し込み

参加をご希望の方は、国土技術政策総合研究所  
ホームページよりお申し込みください。

<http://www.nilim.go.jp/>

### 【お問い合わせ】

国土技術政策総合研究所 企画部企画課

TEL: 029-864-2214

FAX: 029-864-1527

E-mail: kouenkai2014@nilim.go.jp

## 会場のご案内

日本消防会館 ニッショーホール  
(東京都港区虎ノ門2-9-16)

東京メトロ銀座線 虎ノ門駅 (2番・3番出口) 下車徒歩5分  
東京メトロ日比谷線 神谷町駅 (4番出口) 下車徒歩10分



平成26年度 国土交通省

# 国総研 講演会



平成26年 **12月3日** (水)

**10:20**開演 (10:00開場)



日本消防会館 (ニッショーホール)

入場無料 定員700名 (申込先着順)

国土交通省  
国土技術政策総合研究所

# 特別講演

◆16:20～17:20

『社会資本ストックの維持管理にどう立ち向かうか』

三木 千壽

東京都市大学副学長・総合研究所教授  
工学博士



プロフィール

- ・東京工業大学大学院修了後、東京工業大学助手、東京大学助教授、東京工業大学教授、東京工業大学工学部長、東京工業大学副学長を務めた後、現職。
- ・橋梁の設計・製作管理、維持管理等を専門とする。
- ・社会資本整備審議会道路メンテナンス技術小委員会委員長など府省や高速道路会社等の各種委員会の要職を歴任。
- ・経済産業大臣表彰、土木学会論文賞、田中賞(論文部門)ドイツErnst Gassner賞など表彰多数。

## 一般講演

◆10:30～11:00 国総研の最近の話題  
研究総務官 藤田 光一



◆11:00～11:30 【特別セッション(防災)】  
すぐに役立つ土砂災害対策  
土砂災害研究部長 渡 正昭

伊豆大島や広島豪雨災害など、激甚化する土砂災害に対して、「警戒避難を考える上でのポイント」や「命を守るためのノウハウ」について解説するとともに、土砂災害対策の最前線における国総研の研究と活動を紹介します。



◆11:30～11:50 国民・社会の要請に応えるための  
建築分野の取り組み

建築研究部長 五條 渉

東日本大震災を踏まえた天井の脱落防止基準や木材の利用促進のための大規模木造建築物の基準の策定への取り組み、災害拠点建築物の機能継続技術の開発等について説明するとともに、これまでの研究・知見の蓄積を生かした技術支援活動の実績を紹介する。



◆11:50～12:10 防災都市づくりのための  
研究開発の最新動向と今後の展開  
都市研究部長 金子 弘

沿岸都市の防災構造化支援を強化するため、津波避難安全性や防災拠点機能確保のための計画策定手法等のほか、液化化被害の可能性予測や対策工法の効果判定システムの開発動向と液化化ハザードマップ策定支援等の今後の展開について紹介する。



◆12:10～12:30 2050年に向けた建築分野における  
温室効果ガス排出低減の鍵  
住宅研究部長 澤地 孝男

わが国の温室効果ガス排出量の37%を占める建築物におけるエネルギー消費に起因する部分の削減のため、何が課題であり解決策であるのか、これまでに明らかになった事実を基に具体的に解説する。



◆13:30～13:50 IPCC第5次報告書を受けた  
高潮浸水被害予測とその含意  
沿岸海洋・防災研究部長 鈴木 武

第5次評価報告書(IPCC)に示された海面上昇や地球温暖化の予測結果をもとに、日本の高潮浸水被害がどのようになるかの傾向を予測した。その結果とそこから導かれる対応の方向性について紹介する。



◆13:50～14:10 東アジア地域を中心とした  
輸送円滑化方策に関する研究  
港湾研究部長 小泉 哲也

東アジア地域のより効率的な輸送ニーズに対応するためアジア地域と日本各地を結ぶ国際フェリーに着目してその動向を解説し、係留施設の基準案策定、航路網の予測ツール開発、輸送サービス水準の変化や関連施策の効果分析について紹介する。



◆14:10～14:30 空港民営化における  
地震リスクマネジメント手法の開発と  
インフラ管理効率化への取り組み  
空港研究部長 菅沼 史典

巨大地震災害のリスクを民営化された空港の財務諸表等において定量化できる経営マネジメント技術、リニア開通やLCC参入等による需要変動を考慮できる需要予測モデルの開発のほか、舗装維持管理効率化技術等の現場技術の最新の取り組みについて触れる。



◆14:45～15:05 激甚化する水災害へのITC戦略  
河川研究部長 鳥居 謙一

記録的な大雨や局地的、集中的な豪雨(ゲリラ豪雨)など、異常気象が常態化するとともに、災害が激甚化し、「新たなステージ」に入っている。これらに対処するための水防災分野のITC技術の現状と展望について、監視、予測、コミュニケーションの観点から論じる。



◆15:05～15:25 下水道における  
資源・エネルギー回収等の最新動向  
下水道研究部長 高島 英二郎

下水道革新的技術実証事業のうち今年ガイドラインが発行されたプロジェクト(下水汚泥固形燃料化、下水熱利用、下水汚泥からのリン除去回収、下水汚泥ろ液からの窒素除去)の成果を基に、下水道における資源・エネルギー回収等の最新動向を紹介する。



◆15:25～15:45 すぐに役立つ道路交通データ、  
交通安全対策、LCA技術  
道路交通研究部長 森 望

道路を賢く使うためのETC2.0によるプローブ情報の概要・活用方法、道路利用の時間信頼度の評価手法、通学路の速度抑制による交通安全対策手法、地球環境問題対応のための社会資本のLCA算定手法等、最新の成果を紹介する。



◆15:45～16:05 分野横断的研究の推進  
～災害対応の迅速化・事業執行の効率化～  
防災・メンテナンス基盤研究センター長  
高野 匡裕

災害発生時の迅速な初動対応に資する災害対応技術に関する研究、事業執行の効率化のための入札契約方式・品質確保方策のあり方等品確法改正を踏まえた建設マネジメント技術に関する研究等、道路・河川等各分野に共通する課題研究について紹介する。



◆17:20～17:50 【特別セッション(維持管理)】  
すぐに役立つ道路構造物の維持管理  
道路構造物研究部長 真下 英人

橋やトンネル等の道路構造物の老朽化対策のため、点検・診断・措置・記録というメンテナンスサイクルに必要な技術等の研究開発、技術相談等の中から、維持管理に携わる技術者にとって現場で役立つ情報を紹介する。

